

1 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末	平成26年度末
個人変額保険	16,977	18,247
個人変額年金保険	478	483
無配当個人変額年金保険	4,897	4,874
団体年金保険	—	0
特別勘定計	22,353	23,605

2 特別勘定資産の運用の経過

【運用経過】

平成26年度の運用環境は、米国連邦準備制度理事会(FRB)が金融政策の転換点を模索する一方で、中国や欧州の景気減速感から景気下振れリスクが意識されたことや、原油価格の下落によるディスインフレ圧力が加わったことなどを背景として、グローバルに金融緩和の動きが広がりました。こうした金融緩和圧力の強まりによる緩和マネーが金融市場に流入したことが、グローバルな株式の上昇や金利の低下につながりました。特に日本銀行による追加緩和策や、欧州中央銀行(ECB)による量的緩和策の導入は、グローバルに金利低下をもたらす大きな要因となりました。総じてみますと、内外金利は低下、内外株式は上昇という展開となり、為替市場ではドル高が進行しました。

国内長期金利は、グローバルに緩和的な金融環境が維持されるとの観測や、中東や東欧での地政学的リスクおよび中国や欧州景気への懸念などを背景に低下基調で推移しました。1-3月期には上昇に向かう局面もありましたが、年度を通じては金利低下となりました。

米国長期金利は、経済指標の改善やFRBが利上げタイミングを模索しているとの観測が金利上昇要因として意識された一方で、グローバルに緩和的な金融環境、地政学的リスクに対する懸念、原油価格の下落を背景としたディスインフレ圧力などが金利の下押し要因となり、年度を通じては金利低下となりました。

国内株式は、地政学的リスクや世界景気の減速への懸念などから下落に向かう局面もありましたが、日本銀行による追加緩和や為替市場における円安の進行、比較的良好な企業業績見通しなどを背景に、年度を通じてみると上昇基調での推移となりました。

海外株式は、中東や東欧での地政学的リスクの高まりや、中国や欧州景気の減速懸念などから大きく下落する局面もありましたが、グローバルに緩和的な金融環境が維持されるとの観測や、米国の堅調な景気動向などを背景に、年度を通じては上昇しました。

為替は、日本銀行が金融緩和策を更に拡大する一方で、FRBが金融緩和策縮小に向かっていることなどを背景に、対ドルで円安となりました。対ユーロでは、ECBが量的緩和策を実施したことから円高となりました。

資産配分につきましては、年度を通じて、内外株式のオーバーウェイト、内外債券のアンダーウェイトを基本とした配分としました。

※「運用経過」のコメントは、運用委託先であるT&Dアセットマネジメントが作成したものです。

3 個人変額保険の状況

(1)保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険＜有期型＞	103	393	89	352
変額保険＜終身型＞	6,547	49,349	6,274	47,726
合計	6,650	49,743	6,363	48,079

(2)年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	958	5.6	1,059	5.8
有価証券	15,888	93.6	17,081	93.6
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	15,888	93.6	17,081	93.6
貸付金	—	—	—	—
その他	130	0.8	106	0.6
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	16,977	100.0	18,247	100.0

(3)個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	平成25年度	平成26年度
利息配当金等収入	699	710
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	1,533	1,777
為替差益	0	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	0	0
有価証券売却損	—	—
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	—	—
為替差損	—	0
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	2,232	2,488

(注) 損益計算書上、上記の運用収支は「特別勘定資産運用益(損)」として一括計上されています。

(4)個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

①売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
売買目的有価証券	15,888	1,533	17,081	1,777
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—
その他の証券	15,888	1,533	17,081	1,777
金銭の信託	—	—	—	—

②金銭の信託の時価情報

平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。

③個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値)

- イ. 金利関連:当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ロ. 通貨関連:当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ハ. 株式関連:当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ニ. 債券関連:当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ホ. そ の 他:当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。

4 個人変額年金保険の状況

(1) 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額年金保険＜投資勘定選択型＞	103	440	89	408
変額年金保険＜年金原資保証型＞	75	191	66	161
合計	178	632	155	569

(2) 年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

個人変額年金保険(安定運用重視型)

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	9	10.7	8	9.3
有価証券	78	89.3	82	90.7
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	78	89.3	82	90.7
貸付金	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	88	100.0	90	100.0

個人変額年金保険(収益重視型)

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	8	4.4	9	4.6
有価証券	182	95.6	201	95.4
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	182	95.6	201	95.4
貸付金	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	190	100.0	211	100.0

個人変額年金保険(年金原資保証型)

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	15	7.9	9	5.3
有価証券	183	92.1	171	94.7
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	183	92.1	171	94.7
貸付金	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	199	100.0	181	100.0

(3)個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位:百万円)

区 分	平成25年度			平成26年度		
	投資勘定選択型		年金原資 保証型	投資勘定選択型		年金原資 保証型
	安定運用 重視型	収益 重視型		安定運用 重視型	収益 重視型	
利息配当金等収入	2	15	15	1	8	10
有価証券売却益	—	—	—	—	—	—
有価証券償還益	—	—	—	—	—	—
有価証券評価益	1	13	3	4	22	7
為替差益	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	—	—	—
その他の収益	0	0	0	0	0	0
有価証券売却損	—	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	—	—	—	—	—
有価証券評価損	—	—	—	—	—	—
為替差損	0	0	0	0	0	0
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—
その他の費用	—	—	—	—	—	—
収支差額	4	29	19	5	31	18

(注) 損益計算書上、上記の運用収支は「特別勘定資産運用益(損)」として一括計上されています。

(4)個人変額年金保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

①売買目的有価証券の評価損益

個人変額年金保険(安定運用重視型)

(単位:百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
売買目的有価証券	78	1	82	4
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—
その他の証券	78	1	82	4
金銭の信託	—	—	—	—

個人変額年金保険(収益重視型)

(単位:百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
売買目的有価証券	182	13	201	22
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—
その他の証券	182	13	201	22
金銭の信託	—	—	—	—

個人変額年金保険(年金原資保証型)

(単位:百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
売買目的有価証券	183	3	171	7
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—
その他の証券	183	3	171	7
金銭の信託	—	—	—	—

②金銭の信託の時価情報

平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。

③個人変額年金保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値)

- イ. 金利関連: 当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
 ロ. 通貨関連: 当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
 ハ. 株式関連: 当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
 ニ. 債券関連: 当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
 ホ. その他: 当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。

5 無配当個人変額年金保険の状況

(1) 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
無配当個人変額年金保険 (年金原資保証型)	401	4,384	395	4,219

(2) 年度末無配当個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	267	5.5	204	4.2
有価証券	4,630	94.5	4,669	95.8
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	4,630	94.5	4,669	95.8
貸付金	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	4,897	100.0	4,874	100.0

(3) 無配当個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	平成25年度	平成26年度
利息配当金等収入	33	25
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	162	238
為替差益	—	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	—	—
為替差損	—	—
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	196	264

(注) 損益計算書上、上記の運用収支は「特別勘定資産運用益(損)」として一括計上されています。

(4) 無配当個人変額年金保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

① 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
売買目的有価証券	4,630	162	4,669	238
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—
その他の証券	4,630	162	4,669	238
金銭の信託	—	—	—	—

② 金銭の信託の時価情報

平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。

③ 無配当個人変額年金保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値)

- イ. 金利関連：当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ロ. 通貨関連：当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ハ. 株式関連：当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ニ. 債券関連：当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。
- ホ. そ の 他：当社は平成25年度末、平成26年度末とも有していません。